

やじろべえ

発行日 2025年(令和7年)11月
発行 中原区地域教育会議
編集 広報委員会
事務局 川崎市中原市民館内
川崎市中原区新丸子東3-1100-12
電話 044-433-7773 FAX 044-430-0132

今号は、『たんぼぼちゃ』の活動を紙面2ページにわたってたっぷりご紹介します。

中原区地域教育会議では、毎年『中原区子ども会議』を開催しています。その企画と子ども会議当日の司会進行を担っているのが子ども実行委員会『たんぼぼちゃ』。中原区にゆかりのある小学4年生から高校3年生の子どもメンバーです。

■たんぼぼちゃ活動報告Ⅰ

『防災と子どもの権利 一緒に学んじゃおうの日』のイベントを開催しました。

6月15日(日) 11:00~15:00 中原市民館 料理室
“も”っとたんぼぼちゃメンバーを増やしたい!”
たんぼぼちゃらしく、子どもの権利や役立つ知識も楽しく学べて、会話が弾むイベントはなんだろうと考え、子どもの権利に関わるカードゲームと、もしもの時に使える防災食を作ってみることにしました。

事前の告知に苦戦しましたが、こども文化センターや市民活動センターの皆さまにチラシの掲示・配架など、ご協力いただきました。ありがとうございます。

料理室をお借りし防災食作り。お米や缶詰を持ち寄りしました。炊飯器がなくてもお米は炊けるの? 子どもたちで考えてチャレンジスタート。

☆チャレンジ1: 調理のできるビニール袋にお米と水を入れお鍋でゆでるという方法
☆チャレンジ2: 「お米を蒸したら??」小学5年生メンバーからの意見で蒸すという方法

☆チャレンジ3: 区役所危機管理の方からいただいた、防災用ご飯を40分かけて水で戻す方法の3つを試すことにしました。

初めての料理室に子どもたちも大はしゃぎ。どんな用具が必要であるかを考え、それに適した物をたくさんの扉の中から自分たちで探して集めました。実験的要素が入ると、「やってみよう!」と子どもたちのテンションが上がります。

ご飯が出来上がるまでの時間を使ってお楽しみタイム。生クリームとビスケットを使ってのデザート

作りを開始! サポーターにボウルを押さえてもらい、苦戦しながら泡だて器で順番にクリームをホイップ。上からもクリームをのせてチョコスプレーをトッピング。ラップで包み冷蔵庫へ入れてビスケットがケーキになりますように。 ビスケットケーキの完成→



待ちに待った試食タイム! できてるかドキドキ。
☆チャレンジ1: ゆでたお米を袋から出して試食。「おお! ご飯できてる!」「ちょっとかたいけどおいしいよ」と感想が飛び交いました。

☆チャレンジ2: 蒸したお米は芯が残るかと思われましたが、ゆでたご飯と同じようにできました。
☆チャレンジ3: 水で戻した防災用のご飯も試食。

「やってみないと分からなかったね」「やって良かった!」と話をしました。持ち寄った缶詰も苦労して開けてにぎやかな試食タイムとなりました。



出来上がる頃徐々に中高生メンバーやサポーターが集ってきて、食事を終えて午後の部がスタート。初めての小学生が見学に来てくれました。自己紹介後、『世界の子どもの権利かるた: みんなで知ろう! 私たちのチャイルドライツ』を楽しみました。どのカードも見ずに言える子もいて、子どもたちの中に「子どもの権利」が根づいてきたと感じます。

“もっとたんぼぼちゃメンバーを増やしたい!” と行われたこのイベントで小学生のメンバーを増やすことができた、たんぼぼちゃでした♪



■たんぽぽちゃ活動報告Ⅱ

夏休み恒例『研修合宿 2025』

7月22日(火)～23日(水) 川崎市青少年の家

今年度も真夏の日差しの中、中学生2人と小学3・4・5・6年生の6人で研修合宿が始まりました。

社会人サポーターも駆けつけてくれ、小学生メンバーに向けた、子ども会議って何？から始まり、今年度第31回になる「中原区子ども会議」について、どんなテーマがよいかなど意見を出し合いました。

その後は、子ども会議当日のアイスブレイキングについて。大勢で仲良くなれる遊びを考えてみました。



た。そしてそのゲームの説明文をそれぞれが作り、広い場所で自分が選んだゲームのやり方とルールをみんなに伝え、実際にやってみました。

頭をフル回転した後は、お楽しみの食堂での夕食！メニューはみんなの大好きなカレーにから揚げ付き！おなか一杯いただきました。

夜は楽しみにしていた花火、夕食が早かったので、おうちではなかなかできない夜のおやつタイム♪カードゲームなどをしてみんなで一緒に過ごし、ドキドキの2段ベットで眠りにつきました。

2日目も朝から研修室へ。この日は、プチ会議をすることで、司会や書記の役割を交替で体験。その中では、前日に引き続き、「ルールって何であるの？」「ルールとマナーの違いは？」「あるべきルールと、なぜあるのかがわからないルール」「こんな時守れる・こんな時守れない…ルールより大事なこと」など「第31回中原区子ども会議」につながる話し合いをしました。

今回の研修合宿を通して、小学生に横のつながりができ、意見が出やすくなりました。中学生はやんちゃな小学生からいかに飽きずに意見を引き出すかクタクタになるまで奮闘し頼もしい姿を見せてくれました。高校生とサポーターの接し方はさすが！！普段の活動だけでは生まれない関係性を作ることができました。

この2日間は、他のことにとらわれず、一心に仲間の言葉や意見に耳を傾けて、思い切り活動に向き合うことができる大事な時間。そんな研修合宿が、みんな大好きです。



■たんぽぽちゃ活動報告Ⅲ

10月11日(土)川崎市役所新庁舎 1階アトリウム『こどものまちミニカワサキ 2025』に参加。

『ミニカワサキ』は、子どもが主役のまちづくり体験プログラムです。「市民」になった子どもたちが、まちで仕事をして(起業)お金を稼ぎ、そのお金を使って遊びます。銀行や税務署、ジョブセンターなどもあり、「まち」をつくる体験を通して、楽しみながら、まちのしくみや人とのつながりを学びます。12:30～15:30までの午後の部に起業という形で、『子どもの権利のクイズ屋さん』を出店しました。

参加した小学生と高校生の二人は、昨年も参加していたので、段ボールを使って手際よく出店準備を進めました。小学生は、自分なりに段ボールを組み立てたり看板を作ったり。お店が始まると早々に自分からラジオ局に行き、元気いっぱいクイズ屋さんの宣伝をしました。



高校生の、小さなお客さんに「子どもの権利」に関するクイズを出し、子どもの権利の話をしたり、参加できなかったメンバーが手書きで作った『中原区子ども会議』開催チラシを配ったり、お店に来る子どもたちのペースに合わせ営業をし、ゆっくり着々と売上をあげていました。お店には、ミニカワメンバー(高校生の実行委員)も来てくれて、交流することもできました。

たんぽぽちゃメンバーの参加人数は少なかったものの振り返りにも参加でき、ミニカワの仕組みや実行委員のみんなのミニカワサキにける思いを聞くことができ、たんぽぽちゃの活動の参考になる良い経験になりました。



実行委員のみなさん、ありがとうございました！

このように「たんぽぽちゃ」では子ども会議に向けた活動と、地域活動に参加することを通して多くの方と接する取り組みをしています。

1月には『中原区子ども会議』を開催します。開催案内は小学4年生から配られ、高校生までの参加者を募集。たくさん子どもたちで意見交換した結果を、大人に届けたいと思っています。ぜひ遊びに来て来て下さい！

2025 年度 中原区地域教育会議 第1回中学校区交流集会「ネットワーク会議」開催

2025 年 10 月 8 日(水) 開始：18：30 会場：中原市民館多目的ホール

当日は17：30から会場設営を始めました。日ごろ地域で活動されている方々35名が集い、4～5人ずつ6つのグループにわかれしました。グループ内での自己紹介ではじまり今回のテーマ「地域でやってみたいこと」に沿って出てきた意見を付箋に書き込み、書込んだ付箋を更にまとめる作業で進みました。



中原区の住民として地域につながっていきましようということで開催させていただいております。きっかけはどんなささいなことでもよいと思う。どのように考え生活しているのか、大人としてどんな背中を見せていったらよいのか、皆さんの知恵と手を借りて地域教育会議を進めたいと考えています。(議長挨拶から)

□地域教育会議ってこんな場所！ ネットワーク会議ってこんな話しをする場所！

「子どもがいきいき育つまち、大人も楽しく学べるまち」を目指しています。

委員の構成は、学校長や子どもの育ちに関わる各行政機関の代表、地域の団体から選ばれ参加されるPTA、町内会、青少年指導員の方、そして住民委員です。

7年前、文部科学省による学校のコミュニティスクール化に伴いその地域側のパートナーとして『地域学校協働本部』が提案され、川崎市は『地域教育会議』にて担うこととしました。これまで“教育を語るつどい”や“子ども会議”を中心に進めていた活動に、“ネットワーク会議”が加わりました。内容は地域教育会議の委員をはじめ、地域で活動されている委員や団体の方に参加を呼びかけ、情報交換を行い地域の課題について共有する場を設けます。お互いの活動を知り、顔見知りとなりゆるく長いつながりを持つこと、そのような地域のネットワークづくりを目的に、これまではつながりを大事に情報交換を中心に会議を開催しました。

今年度は企画実行委員から出た、「これまでの活動の中で楽しみが増えると活性化につながる」との意見から“地域でやってみたいこと”をテーマに決めて開催しました。実際にどんなことができるのか考えてみました。(実行委員長から)



「やってみたいこと」を付箋に書き込み模造紙に貼っていく



↑ジャンルごとに赤ペンで囲む



完成した作品と記念写真

◎やってみたいこと（一部抜粋）

☆かくれんぼ…昔は鬼ごっこや缶蹴りなどで遊んでいた。今は場所もなかなか思いつかない。外で遊ぶ場所が欲しい。

☆中学生の職業体験…地域の職業体験として開催。

☆大人も職業体験…一つの仕事で生涯を過ごす人が多い。大人も違う仕事を体験すると良い。

☆親カフェを開催…異学年同士の保護者の交流があると高学年の保護者からアドバイスをもらえる良い機会となる

☆先生方と地域の方と交流…若い先生が増えていく中で知らなくて悩むことがある。話すことで、“何だそんなことか”と乗り越えることもある。お互いにわかり合えることもある。

☆コスプレで盆踊り…室内の体育室で浴衣で盆踊りをした。室内であれば夏の暑いときでもコスプレも盆踊りも楽しめそう。

☆他に、防災についてのイベントやギネスに挑戦など60種類ほどのイベントが挙げられました。企画実行委員会ですでにいただいた意見を整理してまた次の企画につなげてまいります。



《まとめ》 子どもみたいな感じでこんなことやったことあるとか、それが呼び水となっていていろいろ出てきた。確かに子どもたち公園で集団で遊ぶ姿を見なくなった。この付箋を基に中原区の地域教育会議が一つ大きなものに動いていくようなきっかけを感じ取れるような会でした。(中学校校長会から参加)

2026年度 中原区地域教育会議 行事のご案内 問合せ:nakaharatikyout@gmail.com

詳細はチラシおよびホームページで改めてご案内いたします。ご参加をお待ちしております。

☆第31回 中原区子ども会議

ルールについて考えよう (仮題)

身近なルールや決まりについて、みんなの声を聞かせてください。

日時 2026年1月18日(日) 13:00~15:50

会場 川崎市中原市民館 2階多目的ホール



企画: 中原区地域教育会議 子ども実行委員会 たんぽぽちゃ

☆第37回教育を語るつどい・第55回保護者と教職員のつどい

私の子育てこれでいいのかなあ?



地域と歩む子育て

~"つながり"が未来を守る~

講師 松居 和先生 (音楽家、作家、元埼玉県教育委員長)

日時 2026年2月7日(土) 13:00~16:00

会場 川崎市中原市民館 2階 多目的ホール

定員 会場 350名 ・ ZOOM 300名

~事前申込制、会場へ当日直接ご来場も可能~



申込はこちらから

中学校区地域教育会議委員の皆様へ ご案内 ※詳細は後日

~2025年度 地域教育会議 第22回 全市交流会~

○日時:2026年2月21日(土) 午後 ○会場:教育文化会館 大会議室 第5・6学習室

○内容: ①中学校区/行政区 地域教育会議の情報共有

②テーマ(検討中)をもとに意見交換、他お知らせなど

市内7区の地域教育会議と教育長も参加予定。毎年広報紙や活動や取組について活発な情報交換を行っています 終了後の懇親会も予定 ぜひご参加ください!



編集後記 (広報委員より)

朝晩の冷え込みに、あったかいお茶が恋しくなる季節になりました。今号はたんぽぽちゃの活動をたっぷりお届けしました。皆様のご理解とご協力により、子どもたちの学びや活動が地域の温もりの中でも育まれています。行事を開催し、参加する中であらためて人と人とのつながりに心が温まる思いがします。今後とも情報を共有し、よりよい学びの場をつくるべく広報してまいります。どうぞよろしく願いいたします。